

令和 4 年（2022 年）度 事業報告

1. 事業報告

昨年度に続きコロナ感染拡大の影響による生産活動の低迷などの影響のあった一年で

12 日ありましたが、後半では回復の兆しを感じられたところも出てきました。

コロナ感染症につきましては利用者さん、職員に感染者が出たり、濃厚接触者になったりした方が何人か出ましたが、そよかせ全体への影響はほとんどありませんでした。

また、前年度に比べると後半ではカフェの営業面で回復の流れを感じる事が出来ました。軽作業でも同様の状況が見られるようになりました。

2. そよかせの事業の状況

2-1) 就労移行支援事業

定員 6 名(3 月末利用者数 3 名)で今年度の年間延べ利用者数は 821 人で昨年度に比べて 287 人減少しました。平均利用人数は 1 日当たり 3.3 人で昨年度より 1.1 人の減少となっています。尚、年度の途中で B 型へ移られた方が 3 名、再び移行に戻られた方が 1 名、就労された方が 1 名、などの流れがありましたので一日の平均利用者数の前年度との比較は単純にはできません。尚、今年度の給付金収入(食事加算含む)は 15,850,239 円で前年に比べて約 961,173 円の増収となっています。一般就労者数(就職人数)は 1 名で定員 6 名に対する就職率は約 17%、現時点で定着率は 100%です。

v2-2) 就労継続支援 B 型

定員 14 名(3 月末利用者数 24 名)で、年間延べ利用者数は 2,294 人で昨年度と比べて 88 人の減少です。平均利用人数は 1 日当たり 9.1 人で前年度より 0.4 人の減少です。また、5 人の方が退所し、移行へ 2 人の方が移動されたり、という動きがありました。尚、今年度給付金収入(食事加算含む)は 22,430,099 円で前年度比 3,100,135 円の増収です。B 型においては平均工賃を引き上げることが国の要請であり、平均工賃に応じた基本報酬が定められていることもあって利用日数が少ない中で平均工賃をいかに引き上げるかが最大の課題となっています。今年度そよかせにおける B 型の月間平均工賃は 10,705 円で、昨年度より 412 円の減少となっています。

2-3) 就労定着支援事業

平成 30 年 4 月に国の方針により創設されました就労定着支援サービスにそよかせでは令和元年 7 月に申請、9 月 1 日付で取手市初の就労定着支援事業所の指定が下りました。令和元年 10 月から事業を開始し、現時点においても取手市で唯一の就労定着支援事業所として、今年度 9 名の方が利用してきましたが、定着支援の 3 年間を終えた方、やむを得ず退職した方がおりましたので、今年の 3 月現在では 6 名の方の利用となっています。お一人お一人の職場での問題等は異なりますが、それらの課題、問題の解決に向けて助言、支援をしています。目指すところは皆さんご自身で課題、問題の解決ができる力を身につけていただくことです。尚、給付金収入は今年度 2,218,632 円でした。

3. 生産活動について

3-1) DM 便配達事業(クロネコヤマト)

今年度の配達参加者数は5名で昨年と変わりません。配達エリアが拡大し、電動自転車を使用して配達していますが、スピードが出やすいこと、また冊数によっては相当な重量がかかるために配達中の故障による事故などが心配されるところです。今年度4月より乗車中のヘルメット着用が努力義務となり、各自の分を備えて運用しています。年間配達総数は61,005冊で昨年度より5,544冊増加、配達手数料総額は今年度1,584,569円で昨年度に比べて150,795円の増加でした。

3-2) カフェそよかせ

就労訓練の一環として、清掃、調理補助、接客補助などを行っており、また生産活動として一般向けのランチと利用者向けの給食を提供しています。併設する月替りの画廊は、自然な形で市民と触れ合う場ともなっています。その作品の提供につきましては関係者の皆様を中心に毎回様々な方たちにご協力を頂いております。この場を借りて御礼申し上げます。コロナウイルスの感染の影響も下火になり、徐々にお客様の多さを感じられるようになってまいりました。今年度のカフェそよかせの収入は2,510,642円となり、前年度より699,322円の増収となりました。

3-3) 施設外の作業

施設外作業は工賃の単価が高だけでなく、スペースの限られたそよかせの作業場所を分散させる意味でも重要です。ウエルネスプラザの草取り作業、そして戸頭の子育て支援センターの外周清掃を行ってきました。また、前田建設 ICI 総合センターの構内緑地の清掃も3月から11月の期間、週二日で行ってきました。そして、昨年12月から新たに、取手駅前の OSI マンションの清掃が加わりました。週二回で1時間の清掃を行って来ています。

3-4) 軽作業

現在主に朝日精密ゴムのバリ取り、練馬製作所のマグネット、オリエンタルトレイドの車用のセット作り、ハート企画のお菓子袋のシール貼り、KST 株式会社の部品確認作業、などの作業を行っています。何人の利用者があっても確実に仕事が提供されるだけでなく、より充実した軽作業の機会を提供することは利用者の工賃の向上や技能訓練の機会の提供ばかりでなく、来所日数の増加につながりますので、今後とも新しい軽作業の開拓に努めて参ります。なお今年度の軽作業収入は1,296,321円で昨年度より306,481円の減少となっています。

3-5) 施設内清掃事業

平日は毎日施設内の清掃を行っています。1階の喫茶ホール、通路、喫茶入り口前、多目的室、トイレ、階段、2階は廊下、第一、第二面接室、休養室、事務室、多目的室、トイレなど全ての清掃を訓練と作業の一環として利用者とスタッフで行っています。

3-6) その他の活動

* セミナーの開催

今年度も月一度での予定は立てておりましたが、特に後半で利用者さんの来所人数が少なくなったりしたことから開催が出来なかった月もあり、7回程度の開催でした。外部から講師を招いての開催は一度でした。

* 給食サービス

カフェの設備を生かして利用者さんはじめ各職員が交代で手作りの健康的な食事を一食 100円で提供し皆さんから好評を博しています。今年度の食事提供体制加算は880,550円(給食代補助)でした。しかし、この補助については今後不透明な点もあり心配がされるところであります。

* 地域交流活動事業

- ・会報「らしん盤からの手紙」を2回発行しました。
- ・ギャラリーロードにポスター等を展示しました。
- ・取手自立支援協議会に例年通り参加しています。
- ・10月1日(土)守谷市社協主催の「買ってネットバザール」に参加し他団体との交流を深めました。
- ・10月22日(土)取手市福祉まつりに参加しました。

(以上)